

**幌加内町**  
**公共施設等総合管理計画**  
**個別施設計画**

令和4年3月



# 目次

## 第1章 個別施設計画の目的

1. 個別施設計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 関連計画との関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 長寿命化への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

## 第2章 公共施設等の現状

1. 建築物系施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 施設全体の現状に関する傾向・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3. 建築物系施設の長寿命化に関する計画類・・・・・・・・ 7
4. インフラ系施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

## 第3章 更新費用の試算

1. 考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2. 更新費用の試算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## 第4章 施設別計画

1. 施設別計画の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
2. 対策の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
3. 施設別計画（建築物系）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

## 第6章 まとめ

1. 全庁的な取組体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
2. 広域的な連携について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

図表 1	計画類の全体像	2
図表 2	公共施設等の長寿命化に関する主な計画及び期間	3
図表 3	施設カルテのフォーマット	4
図表 4	施設数と延床面積	5
図表 5	施設の老朽化度	6
図表 6	幌加内町の人口推移と将来予測（表）	9
図表 7	幌加内町の人口推移グラフ	10
図表 8	経費（単純更新費用）の見込額（30年間）	11
図表 9	経費（単純更新費用）の見込額（30年間）グラフ	11
図表 10	経費（大規模改修費用）の見込額（30年間）	12
図表 11	経費（大規模改修費用）の見込額（30年間）グラフ	12

# 第1章 個別施設計画の目的

## 1. 個別施設計画の位置づけ

これまでに、本町では行政需要に応じて、学校、庁舎、町営住宅などの建築物系施設や道路、橋梁、上下水道などのインフラ系施設（※1）を建設し、町民の生活基盤、地域コミュニティの拠点などとして大きな役割を果たしてきました。

しかし、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

また、今後、本町の公共施設等の改修や更新については、将来のまちづくりと資産のライフサイクルに基づき、適切な時期に適切な方法で進めていく必要があります。

このような状況の中、国において策定された「インフラ長寿命化基本計画（2013年11月）」に基づき、すべての地方公共団体は、建築物系施設、インフラ系施設などすべての公共施設等を対象とし、10年以上の長期の視点を持ち、かつ、財政見通しとLCC（ライフサイクルコスト）（※2）に配慮した行動計画である総合管理計画を2016年度までに策定することとされました。

本町では、2016年3月に公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として「幌加内町公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定したところです。

また、総合管理計画を基本とし、個別の施設毎の具体的な対応方針として個別施設計画を策定することとされており、本町では地域特性を踏まえ、「幌加内町公共施設等総合管理計画個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）」を策定するものです。

（※1）インフラ系施設：道路、橋梁等の土木構造物や上下水道施設等生活基盤を形成する施設。

（※2）LCC（ライフサイクルコスト）：施設の建設・建築費だけでなく、維持管理・運営・修繕・処分までの事業全体にわたり必要な総費用。

## 2. 計画期間

個別施設計画の計画期間は、2021年度から2030年度までの10年間とし、上位計画や関連する計画の策定・改訂状況や社会情勢の変化等に応じて、適宜見直しを図っていくこととします。

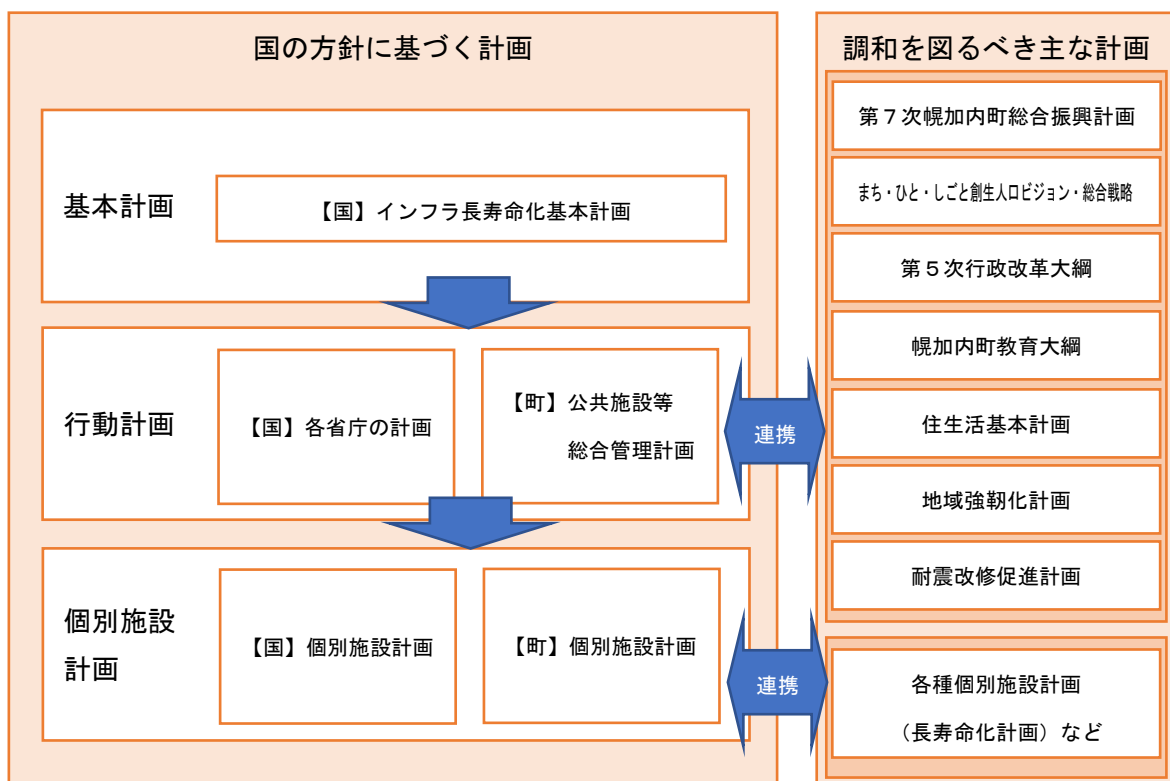
また対象施設は、原則として町が所有する公共施設のうち、学校教育系施設、公営住宅等、橋梁、上下水道施設を除いた施設とします。

### 3. 関連計画との関係

本町のまちづくりの最上位に位置付けられる「第7次幌加内町総合振興計画（以下「総合振興計画」という。）」をはじめとする各種計画があり、本計画においてもこれらの計画との調和を図る必要があります。

各種計画類の全体像は、図表1のとおりです。

図表1 計画類の全体像



### 4. 長寿命化への取り組み

施設の長寿命化を推進するため、点検・診断、修繕・改修・更新により予防保全・機能改善に取り組んでいます。

修繕・改修・更新については、長寿命化に加えて、耐震化、照明のLED化、エレベーター等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化（車いす用トイレ・多目的トイレ、授乳室・託児室等）等についても検討します。

本町がすでに策定済若しくは今後策定予定の長寿命化関連の計画及び計画期間は図表2のとおりです。

図表 2 公共施設等の長寿命化に関連する主な計画及び期間（今後 10 年間）

施設分類	分野	計画名	計画期間 (年度)	年度											
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
建築物系施設	住 宅	幌加内町公営住宅等長寿命化計画	2012～2021 2021～2031(予定)	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色
	学 校	(仮称)幌加内町学校施設個別施設計画	2021～2025(予定)	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色
	橋 梁	幌加内町橋梁長寿命化修繕計画	2021～2030	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色
インフラ系施設	上下水道	幌加内町上・下水道事業経営戦略	2017～2026	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色
	上下水道	幌加内町農業集落排水施設最適整備構想	2018～2027	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色
	上下水道	公営企業法適用化基本計画（簡易水道）	2021～2023	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色
	上下水道	公営企業法最適化基本計画（下水道）	2021～2023	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色	水色

※水色…現行計画年      橙色…次期計画年      白色…未定計画年

## 第2章 公共施設等の現状

### 1. 建築物系施設

町が保有する施設のうち、建築物系施設については、総合管理計画に掲載されている施設143施設を個別施設計画の対象とします。また、建築年度や利用状況、運営コスト等を取りまとめた施設カルテ（図表3）を作成しました。

この施設カルテから得られる情報（2021年4月時点）と、施設を所管する担当課へのヒアリング及び現地調査（必要に応じて）により得られた情報により、施設の点検・診断に代え、状態等を把握することとしました。

以下、施設カルテを作成済みの建築物系施設について、項目に分けて現状を整理します。

図表3 施設カルテのフォーマット

個別施設計画・施設カルテ							
施設番号	用途分類	所管課	課	担当			
施設名称	所在地						
①【施設概要】							
設置根拠	条例・規則・要綱等						
施設配置状況	建物内施設						
	敷地内建物						
土地	管理形態	管理者		所有者名			
	敷地面積	所有形態	建築年	容積率			
建物	用途地域	地上	地下	非常用井戸			
	その他規制						
	棟数	延床面積	築年月	主構造			
	耐用年数	経過年数	耐震性能				
	建築基準法第12条点検データ						
	劣化状況評価 (A~D)	躯体	屋根	外壁	内装		
	防災倉庫	指定避難場所	指定避難所				
	下水道	合併浄化槽	単独浄化槽				
	バリアフリー等対応状況	玄関	通路	階段	建物内段差		
	WC	EV	標示	A E D			
利便性	最寄駅・バス停の名称						
駐車場	自動車	原付・バイク	自転車				
②【維持管理コスト】 単位：円							
収入	使用料	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考	
	事業収入						
	指定管理料						
	運営委託料						
	その他						
	計	0	0	0	0		
支出	光熱水費						
	修繕費						
	施設管理委託料						
	事業費						
	賃借料・賃借料						
	建物保険料						
	工事費						
	人件費						
その他							
計	0	0	0	0			
収支	金額	0	0	0	0		
※平成27年度以前に行った改修工事・修繕で、主として建物に関するもの（50万円以上）							
年度	金額	内容	年度	金額	内容		

③【施設利用状況】（保育所・学童保育所以外の施設※一般の利用者、貸出し等がある施設）						
利用条件	年間営業日数	定員	町民以外利用	町民以外利用者数		
	使用料等徴収	使用料等減免基準	使用料等減免基準料			
	休憩日					
利用者属性						
年間利用状況		平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	4ヵ年平均
	利用者数					
	営業日数					
	利用日数					
	稼働率					
	利用者数					
	営業日数					
	利用日数					
	稼働率					
	利用者数					
	営業日数					
	利用日数					
稼働率						
利用者数						
営業日数						
利用日数						
稼働率						

※令和3年4月1日現在の状況での情報を記載しています。  
 ※数値、金額などは、一定の条件のもと集計を行っているため、すでに公表されている数値等と一致しない場合があります。

表面

裏面



(1) 施設の概況

本町の施設は総合管理計画において 12 分類に分けられており、施設分類ごとの所在地は図表 4 のとおりです。延床面積全体の比率が高い順に、スポーツ・レクリエーション系施設 (20.4%)、町民文化系施設 (19.5%)、産業系施設 (17.5%) となっており、施設数で見ると、その他が 42 施設と多くなっています。

公営住宅及び学校教育系施設については、各種個別施設計画のとおりとなっておりますが、延床面積は、最も多くなっています。

図表 4 施設数と延床面積

No.	施設分類名	施設数			延床面積 (㎡)			延床面積の割合
		全体	市街	その他	全体	市街地区	その他	
1	町民文化系施設	17	3	14	9,374.11	3,926.10	5,448.01	19.5%
2	社会教育系施設	1	1	0	3,154.92	3,154.92	0.00	6.6%
3	スポーツ・レクリエーション系施設	24	3	21	9,828.91	2,153.88	7,675.03	20.4%
4	産業系施設	16	7	9	8,402.15	2,944.68	5,457.47	17.5%
5	学校教育系施設	(仮称) 幌加内町学校教育施設個別施設計画を参照						
6	保健・福祉施設	7	5	2	4,338.76	3,806.43	532.33	9.0%
7	医療施設	5	3	2	1,398.50	937.00	461.50	2.9%
8	行政系施設	8	5	3	4,215.34	3,994.03	221.31	8.8%
9	公営住宅等	幌加内町公営住宅等長寿命化計画を参照						
10	公園	19	0	19	1,206.43	0.00	1,206.43	2.5%
11	供給処理施設	4	0	4	1,009.31	0	1,009.31	2.1%
12	その他	43	25	18	5,150.73	2,687.96	2,462.77	10.7%
合計		144	52	92	48,079.16	23,605.00	24,474.16	100.0%

※1 数値は、四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。

※2 建設場所の住所が幌加内町字親和及び平和については、市街地区として計上しました。

(2) 老朽化度（耐用年数－経過年数）

施設の経過年数が耐用年数を超過し、老朽化度の高い施設数は、図表5のとおりとなっています。特に、「その他」は老朽化度の高い施設数が多く、その内訳は職員住宅や、教員住宅となっています。これらの施設の、今後の必要性や在り方は、人口減少や高齢化が進む本町において協議等が重要となります。

図表5 施設の老朽化度

No.	施設分類名	高い (経過年数≥耐用年数)	低い (経過年数<耐用年数)	合計
1	町民文化系施設	5	12	17
2	社会教育系施設	0	1	1
3	スポーツ・レクリエーション系施設	9	15	24
4	産業系施設	5	11	16
5	学校教育系施設	(仮称) 幌加内町学校教育施設個別施設計画を参照		
6	保健・福祉施設	3	4	7
7	医療系施設	0	5	5
8	行政系施設	3	5	8
9	公営住宅等	幌加内町公営住宅等長寿命化計画を参照		
10	公園	9	10	19
11	供給処理施設	1	3	4
12	その他	30	13	43
	合計	65	79	144

※ 固定資産台帳に定められた耐用年数で判断する。

2. 施設全体の現状に関する傾向

施設数は、幌加内地域 52、その他 92 となっています。学校教育系施設及び公営住宅を除き、市街地区においては「その他」が最も多い施設ですが、市街地区で2番目に多い「産業系施設」はその他では5番目であり、その他では「スポーツ・レクリエーション施設」が多い等、両地区では施設の分布に違いがみられます。

分類別では、市街地区において1番多い「その他」が特に老朽化が進んでおりますが、おおよそ半数は耐用年数を大幅に過ぎた職員住宅や教員住宅であり、さらに10年後には8割が耐用年数を超過します。安全性への懸念や機能性・環境性の観点からも懸念があるため、今後の対策が望まれますが、入居者や地域との合意形成等が必要です。

「公営住宅等」については、稼働状況が非常に高い一方、耐用年数を超過した住宅が多く、安全性・機能性・環境性の観点からは懸念される状況です。今後は令和3年度に策定される「公営住宅等長寿命化計画」に沿って円滑な住宅施策に取り組みます。

### 3. 建築物系施設の長寿命化に関する計画類

#### (1) 住宅

計画名	幌加内町公営住宅等長寿命化計画
策定年月	第1期：2012年3月 第2期：2022年3月（予定）
部署名	第1期：住民課住民生活係 第2期：建設課建築住宅係
計画期間	2022年度～2031年度までの10年間
内容	公営住宅等ストックの適切なマネジメント（維持・管理）を行うために、団地別・住棟別に修繕、改善、建替などの活用方法を定め、更新コストの削減と事業量の平準化を図ることを目的に策定している。

#### (2) 学校

計画名	（仮称）幌加内町学校施設個別施設計画
策定年月	2021年度中（予定）
部署名	教育委員会学校教育係
計画期間	2021年度～2025年度までの5年間
内容	計画的な長寿命化と修繕を行うことでコストの平準化を図り、子どもたちの安全・安心な学校施設を確保することを目的に策定予定

### 4. インフラ系施設

インフラ系施設は、主に道路、橋梁、公園、上下水道施設であり、インフラ系施設の個別施設計画は別途策定済みまたは策定予定となっており、その計画により長寿命化等の対策を実施します。なお、各計画の概要は以下のとおりです。

#### (1) 橋梁

計画名	幌加内町橋梁長寿命化修繕計画
策定年月	2021年3月
部署名	建設課土木維持係
計画期間	2021年度～2030年度までの10年間
内容	予防保全（計画的な修繕・架替え）を行い、橋梁の長寿命化と修繕・架替えのコスト削減を図り、地域の道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的に策定している。

(2) 上下水道施設

計画名	幌加内町上・下水道事業経営戦略
策定年月	2017年3月
部署名	建設課上下水道係
計画期間	2016年度～2025年度までの10年間
内容	将来にわたりサービスの提供を安定的に継続していくことが可能となるように、「投資試算」及び「財源試算」の将来予測方法、経営健全化や財源確保の具体的な方策を整理し、経営戦略としてとりまとめ、中長期的な経営の基本計画を策定。

計画名	幌加内町農業集落排水施設最適整備構想
策定年月	2022年度（予定）
部署名	建設課上下水道係
計画期間	2022年度～2024年度までの4年間
内容	生活環境の改善と併せて公共用水域の水質保全を図るため、老朽化が進む管路・汚水処理施設の適正な維持管理を計画的に行うため、計画を策定予定。

計画名	公営企業法適用化基本計画（簡易水道・下水道）
策定年月	2022年3月（予定）
部署名	建設課上下水道係
計画期間	2021年度～2022年度までの2年間
内容	簡易水道及び下水道における経営の健全化、財務状況の明確化及び各施設の効率的な維持管理を図るため、地方公営企業法の適用へ移行することを目的に計画を策定予定。

## 第3章 更新費用の試算

### 1. 考え方

本町の人口は継続的に減少し、住民が利用する施設数についても、将来的な人口減少とともに今後縮小方向に向かうものと想定されます。図表6及び図表7のとおり、昭和30（1955）年をピークに減少傾向となり、平成27（2015）年には、1,525人となりました。

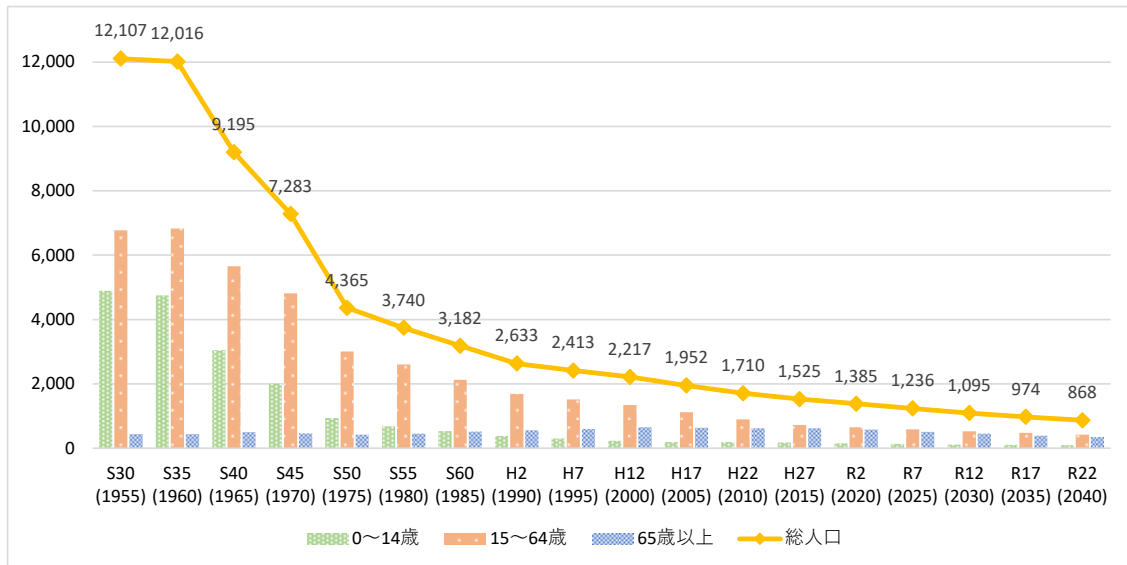
図表6 幌加内町の人口推移と将来予測（表）

（人数）	S30 (1955)	S35 (1960)	S40 (1965)	S45 (1970)	S50 (1975)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)
0～14歳	4,891	4,747	3,043	2,006	939	687	535	385	300
15～64歳	6,774	6,831	5,652	4,813	3,004	2,601	2,126	1,690	1,515
65歳以上	442	438	500	464	422	452	521	558	598
総人口	12,107	12,016	9,195	7,283	4,365	3,740	3,182	2,633	2,413

（人数）	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)
0～14歳	228	195	193	180	154	135	116	105	99
15～64歳	1,339	1,118	897	725	652	591	529	477	420
65歳以上	650	639	620	620	579	510	450	392	349
総人口	2,217	1,952	1,710	1,525	1,385	1,236	1,095	974	868

※ 幌加内町人口ビジョンより

図表7 幌加内町の人口推移グラフ



人口減少の中、既存施設の更新費用は、経年劣化により長期にわたって発生します。一方、町税収入の減少等により、すべてに対応することが難しい状況が予想されます。

このため、経費については、将来的な更新費用を把握・分析して平準化と節減に努める必要があります。また、これらの経費（更新費用）及び財源については、総合管理計画及び個別施設計画の進捗状況や、町の財政状況、予算状況等を確認しながら、収支バランスをとるよう努めていきます。

## 2. 更新費用の試算

公共施設等のうち建築物系施設の長寿命化について、対策を行った場合と特別の対策をせずに耐用年数毎に建て替えた場合を比較して、どのくらいの効果があるか試算した結果が次のとおりです。

試算にあたっては、後述する第5章の施設別計画の「方向性・対策」を実施したことを前提としており、施設別の分類（10分類 学校教育系施設及び公営住宅等を除く）に分けて算出します。

今後30年間の期間で試算した結果、建築物系施設全体として、長寿命化対策等により、単純更新（耐用年数で建替え）よりも約54.4億円の経費節減が見込まれます。

なお、インフラ施設については、策定済みまたは策定予定の各計画書に基づくものとします。

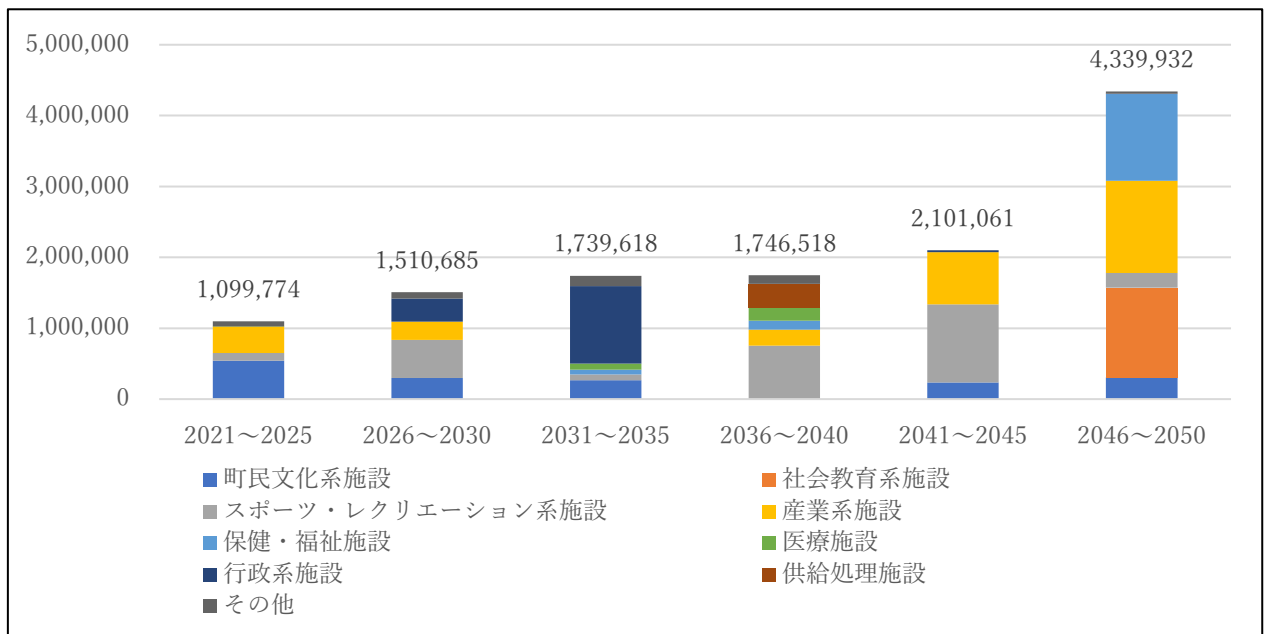
図表 8 経費（単純更新費用）の見込額（30年間）

（単位：千円）

施設分類名\年	2021～2025	2026～2030	2031～2035	2036～2040	2041～2045	2046～2050	合計
町民文化系施設	542,300	298,616	264,160	0	233,452	309,248	1,647,776
社会教育施設	0	0	0	0	0	1,261,968	1,261,968
スポーツ・レクリエーション施設	108,000	536,299	84,438	755,694	1,102,993	207,054	2,794,478
産業系施設	373,028	258,332	0	225,180	737,616	1,301,640	2,895,796
保健・福祉施設	0	0	66,730	124,909	0	1,226,066	1,417,705
医療施設	2,070	0	85,244	186,653	0	0	273,967
行政系施設	0	326,448	1,094,880	0	27,000	1,296	1,449,624
供給系施設	0	0	0	333,850	0	0	333,850
その他	74,376	90,990	144,166	120,233	0	32,659	462,424
合計	1,099,774	1,510,685	1,739,618	1,746,518	2,101,061	4,339,932	12,537,588

※ 数値は、四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。

図表 9 経費（単純更新費用）の見込額（30年間）グラフ



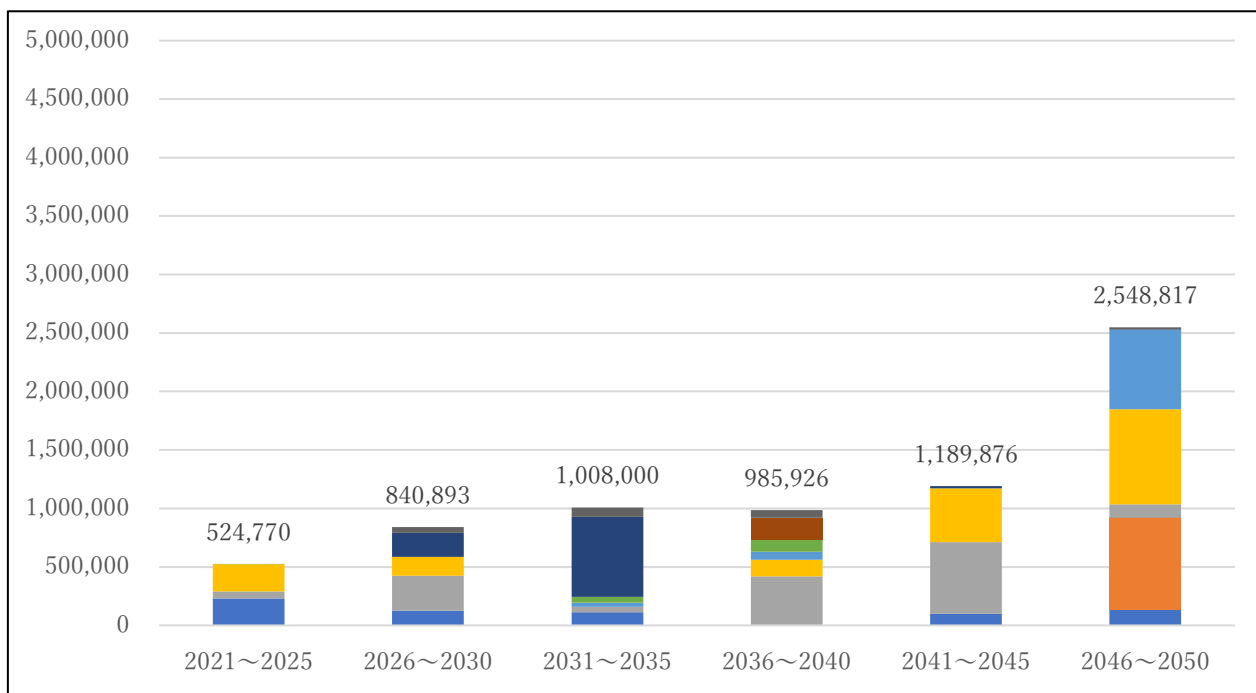
図表 10 経費（大規模改修費用）の見込額（30年間）

（単位：千円）

施設分類名\年	2021～2025	2026～2030	2031～2035	2036～2040	2041～2045	2046～2050	合計
町民文化系施設	230,478	126,912	112,268	0	99,217	131,430	700,305
社会教育施設	0	0	0	0	0	788,730	788,730
スポーツ・レクリエーション施設	60,000	297,944	46,910	419,830	612,774	115,030	1,552,488
産業系施設	233,143	161,458	0	140,738	461,010	813,525	1,809,873
保健・福祉施設	0	0	37,072	69,394	0	681,148	787,614
医療施設	1,150	0	47,358	103,696	0	0	152,204
行政系施設	0	204,030	684,300	0	16,875	810	906,015
供給系施設	0	0	0	185,472	0	0	185,472
その他	0	50,550	80,092	66,796	0	18,144	215,582
合計	524,770	840,893	1,008,000	985,926	1,189,876	2,548,817	7,098,282

※ 数値は、四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。

図表 11 経費（大規模改修費用）の見込額（30年間）グラフ





## 第4章 施設別計画

### 1. 施設別計画の考え方

建築物系施設については、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を目的に、各施設分類別に具体的な計画を策定します。また、インフラ系施設については、それぞれの個別施設計画に基づくものとします。

施設別計画には、現状を踏まえた対策の種類及びその内容を記載していますが、更なる検討や地域及び利用者との意見交換等により、「方向性・対策」に変更が生じた場合は、計画見直し時に変更することとします。

また、対策時期については、現時点で想定される時期を記載していますが、財政状況をはじめとするその時々々の社会情勢等によって変更となる場合があります。

各建築物系施設の施設別計画は、次ページ以降のとおりです。

### 2. 対策の種類

費用縮減のために建築物に対して講じる対策として、以下14通りを想定します。

定義	例
1 現状維持	A 施設は適宜外壁塗装し、現状を観察する。
2 耐震化	B 施設は耐震化を施し、現状を観察する。
3 改修	C 施設は改修を施し、現状を維持する。
4 多機能化	D 施設を機能の似た E 施設に統合する。
5 集約化	F、G、H 施設の機能を集約し、新たな I 施設を建てる。
6 見直し	J 施設は施設計画を再度巻き直す。
7 広域化	K 施設は隣接町村の L 施設と機能が重複するため統合する。
8 民間譲渡・売買	M 施設は指定管理者制度を利用し民間へ委譲する。
9 転用	N 施設は福祉施設から公民館(集会施設)に機能替える。
10 地域移管	O 施設は施設の属する地域の〇〇町内会へ委譲する。
11 規模縮小	P 施設は機能の限定化を行い、コストダウンを図る。
12 機能移転	Q 施設はその機能を P 施設へ移転させる。
13 除却	R 施設は利用頻度が少ないため廃止する。
14 建替え	S 施設は老朽化等により、建替えを実施する。

### 3. 施設別計画（建築物系）

#### （1）町民文化系施設（17施設）

生活改善センター、コミュニティセンター、公民館、研修センター等、計17の施設があります。建築後31年以上経過し老朽化した施設が多くなっていますが、厳しい財政状況を踏まえ、施設活用度の低い施設については、他用途への変更や施設のあり方を見直します。

「中央生活改善センター」は老朽化のため、令和3年度に取り壊しをします。

町民同士の交流の場が少ないことから、既存施設の活用などにより地域コミュニティの拠点を増やすことが、今後検討の必要な課題となっています。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	下幌加内生活改善センター	下幌加内	137.70	S42	1 現状維持	総務課
2	政和研修センター(旧政和小学校)	政和第二	914.00	S42	13 除却	教育委員会
3	中央生活改善センター	幌加内	1,262.88	S44	13 除却	教育委員会
4	克雪管理センター	朱鞠内	381.78	S49	3 改修	教育委員会
5	幌加内中央公民館	幌加内	1,452.93	S51	2 耐震化	教育委員会
6	沼牛地区生活改善センター	沼牛	233.28	S53	13 除却	教育委員会
7	沼牛研修センター 体育館(旧沼牛小学校)	沼牛	546.00	S54	1 現状維持	教育委員会
8	沼牛研修センター 廊下(旧沼牛小学校)	沼牛	24.15	S54	1 現状維持	教育委員会
9	政和研修センター(旧政和小学校)	政和第二	590.57	S55	11 規模縮小	教育委員会
10	町民研修センター(役場2・3階)	幌加内	1,210.32	S57	1 現状維持	教育委員会
11	母子里コミュニティセンター	母子里	660.40	S60	1 現状維持	教育委員会
12	朱鞠内コミュニティセンター	朱鞠内	383.40	S61	3 改修	教育委員会
13	政和研修センター(旧政和小学校)	政和第二	184.54	S62	13 除却	教育委員会
14	沼牛地区生活改善センター	沼牛	16.00	H1	13 除却	教育委員会
15	朱鞠内コミュニティセンター	朱鞠内	19.44	H2	13 除却	教育委員会
16	政和コミュニティセンター	政和第二	773.12	H12	1 現状維持	教育委員会
17	添牛内コミュニティセンター	添牛内	583.63	H16	1 現状維持	教育委員会
合計 17施設			9,374.14			

(2) 社会教育施設 (1 施設)

建築後 24 年が経過しているが、利用率が高いことから予防保全の維持管理を実施します。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	生涯学習センター(あえる 97)	親和	3,154.92	H9	1 現状維持	教育委員会
合計 17 施設			3,154.92			

(3) スポーツ・レクリエーション系施設 (24 施設)

レークハウスしゅまりない、スキー場ロッジ、町民プール、交流プラザ、研修センター等、計 24 の施設があります。建築から 31 年以上を経過した施設が 12 施設あり、耐用年数が経過している施設もあることから、計画的な改修改築を検討します。

「町民保養センタールオント」は近年大規模改修もあり、町内外問わず利用客が増加傾向にあり、今後もまちづくりの中心として活用します。

「ほろたちスキー場」におけるリフト等スキー場施設に関しては、観光だけではなく、学校教育やスポーツ振興のための施設でもあるため、修繕を行いつつ継続利用します。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	国設ほろたちスキー場ほろたち山ロッジ	長留内	208.00	S50	1 現状維持	教育委員会
2	レークハウスしゅまりない	朱鞠内	552.13	S52	3 改修	産業課
3	レークハウス(ポンプ小屋) [湖南飲料水管理棟]	朱鞠内	12.15	S52	1 現状維持	産業課
4	国設ほろたちスキー場ほろたち山ロッジ (増築)	長留内	262.44	S53	1 現状維持	教育委員会
5	朱鞠内研修センター	朱鞠内	501.98	S54	3 改修	産業課
6	朱鞠内研修センター(渡り廊下新設)	朱鞠内	84.81	S54	3 改修	産業課
7	レークハウスしゅまりない(増改築 厨房)	朱鞠内	36.50	S56	3 改修	産業課
8	国設ほろたちスキー場ほろたち山ロッジ (ラウンジ増築)	長留内	140.40	S56	1 現状維持	教育委員会
9	国設ほろたちスキー場ほろたち山ロッジ (休憩施設増築)	長留内	243.00	S56	1 現状維持	教育委員会
10	朱鞠内湖畔ロッヂ	朱鞠内	300.00	S59	1 現状維持	産業課
11	国設ほろたちスキー場ほろたち山ロッジ (増築)	長留内	26.73	S60	1 現状維持	教育委員会
12	ふれあいの家まどか(改築主体工事)	朱鞠内	1,780.58	H1	6 見直し	産業課
13	国設ほろたちスキー場ほろたち山ロッジ (便所外増改修)	長留内	123.48	H2	1 現状維持	教育委員会
14	ふれあいの家まどか(車庫新築)	朱鞠内	124.74	H4	6 見直し	産業課
15	ふれあいの家まどか(体験実習館新築)	朱鞠内	925.44	H5	6 見直し	産業課
16	町民保養センタールオント	政和第一	1,497.39	H5	1 現状維持	産業課

17	政和道の駅さわやかトイレ(道の駅)	政和第一	149.00	H9	1 現状維持	産業課
18	交流プラザ	幌加内	1,566.48	H10	1 現状維持	産業課
19	山村広場(東屋)	幌加内	12.25	H12	1 現状維持	教育委員会
20	ふれあいの家まどか(屋外実習棟新築)	朱鞠内	306.32	H13	6 見直し	産業課
21	朱鞠内町民プール	朱鞠内	49.05	H14	1 現状維持	教育委員会
22	物産館	政和第一	278.16	H15	1 現状維持	産業課
23	幌加内町民プール	幌加内	575.15	R2	1 現状維持	教育委員会
24	町民保養センタールオント増築改修	政和第一	72.73	R2	1 現状維持	産業課
合計 24 施設			9,828.91			

#### (4) 産業系施設 (16 施設)

農産加工総合研究センター、そば乾燥調製施設、農業技術センター、計 16 の施設があります。その他の分類に比べて、比較的耐用年数内の建物が多いことから、予防保全を施し、トータルコストの縮減を図り、引き続き指定管理または委託方式にてコストダウンを図ります。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	幌加内共進会場(管理棟)	雨煙別	129.60	S58	13 除却	産業課
2	農産加工総合研究センター	平和	559.00	H1	6 見直し	産業課
3	農産加工総合研究センター (冷凍冷蔵庫上屋)	平和	125.87	H1	6 見直し	産業課
4	農産加工総合研究センター(増築)	平和	595.27	H2	6 見直し	産業課
5	農産加工総合研究センター(車庫新設)	平和	46.44	H3	6 見直し	産業課
6	地力維持増進施設[パーク堆肥管理棟]	雨煙別	116.00	H4	4 多機能化	産業課
7	農業技術センター 試験圃場(物置)	清月	48.60	H3	6 見直し	産業課
8	朱鞠内湖遊漁者管理・休憩棟	朱鞠内	210.60	H9	1 現状維持	産業課
9	農業活性化センター(アグリ 21)	幌加内	937.00	H11	1 現状維持	産業課
10	農産物集出荷施設[そば集出荷施設] (B品倉庫新築)	振興	529.83	H11	8 民間譲渡 ・売買	産業課
11	農業技術センター 試験圃場(管理棟)	清月	135.00	H12	6 見直し	産業課
12	農業技術センター	幌加内	427.95	H12	6 見直し	産業課
13	朱鞠内湖淡水魚種苗生産供給施設	朱鞠内	126.70	H20	1 現状維持	産業課
14	そば乾燥調製施設(そばの牙城)	振興	2,317.10	H24	1 現状維持	産業課

15	農産物処理加工施設(そばむき実工房)	幌加内	253.15	H27	1 現状維持	産業課
16	農産物集出荷施設(低温貯蔵倉庫)	振興	1,844.04	H26	1 現状維持	産業課
合計 16 施設			8,402.15			

#### (5) 学校教育系施設

学校については、策定予定の「(仮称)幌加内町学校教育系施設個別計画」に基づき対策を実施していきます。

将来の児童生徒数の予測を踏まえ、本町の学校教育方針や財政状況、地域の実情等を考慮した上で、数量の最適化を図ります。数量の最適化(休校等)においては、校舎が更新を迎える時期の児童生徒数のみならず躯体※耐用年数間の変動を勘案し、増改築、用途変更、統廃合などに柔軟に対応できるようにします。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
(仮称) 幌加内町学校教育施設個別施設計画を参照						

#### (6) 保健・福祉施設(7施設)

将来の年少人口、老年人口増減の予測を踏まえ、本町の財政状況、地域の実情等を考慮した上で、数量の最適化を図ります。数量の最適化においては、建物が更新を迎える時期の利用者数のみならず躯体耐用年数間の変動を勘案し、増改築、用途変更、統廃合などに柔軟に対応できるようにします。

施設の状態を的確に把握し管理するため、管理データを整備し、定期点検による予防保全の維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行える環境を構築します。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	放課後児童クラブ(医師住宅)	幌加内	99.37	S46	1 現状維持	保健福祉課
2	幌加内高齢者コミュニティセンター	幌加内	291.60	S56	11 規模縮小	保健福祉課
3	幌加内高齢者コミュニティセンター(増改修)	幌加内	9.72	H2	11 規模縮小	保健福祉課
4	保健福祉総合センター アルク	親和	2,822.76	H8	1 現状維持	保健福祉課
5	北部地域包括ケアセンター(増改築)	朱鞠内	346.97	H11	1 現状維持	保健福祉課
6	幌加内老人福祉寮 福寿荘	親和	582.96	H13	1 現状維持	保健福祉課
7	北部地域包括ケアセンター	朱鞠内	185.36	H23	1 現状維持	保健福祉課
合計 7 施設			4,338.76			

(7) 医療施設 (5 施設)

町立病院解体後の跡地は、有効活用について検討していきます。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	朱鞠内診療所	朱鞠内	236.79	S58	1 現状維持	診療所
2	幌加内歯科診療所	幌加内	293.77	S61	1 現状維持	診療所
3	幌加内歯科診療所(段差解消機設置)	幌加内	5.75	H19	1 現状維持	診療所
4	幌加内町立国民健康保険診療所	親和	637.48	H28	1 現状維持	診療所
5	医師住宅	朱鞠内	224.71	H29	1 現状維持	診療所
合計 5 施設			1,398.50			

(8) 行政系施設 (8 施設)

庁舎は、幌加内地域の本庁舎、朱鞠内の支所ともに、行政運営及びまちの中核施設であり、基本的に継続利用を想定していますが、今後、老朽化対策や耐震化への対応を検討する必要があります。

老朽化が進んだ施設は、予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ります。また、運用や設備における省エネ対策を検討し、委託費については、包括化等を検討します。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	庁舎書庫	幌加内	184.00	S46	1 現状維持	総務課
2	幌加内町役場(中央公民館3階)	幌加内	816.12	S51	2 耐震化	総務課
3	庁舎書庫(増築)	幌加内	256.73	S53	1 現状維持	総務課
4	添牛内消防会館	添牛内	150.57	S54	1 現状維持	消防
5	幌加内町役場(役場1階)	幌加内	1,118.19	S57	1 現状維持	総務課
6	朱鞠内支所(改修)	朱鞠内	67.50	H5	1 現状維持	総務課
7	政和地区災害時屋上放送施設	政和第二	3.24	H12	1 現状維持	総務課
8	除雪施設車庫	幌加内	1,619.01	H16	1 現状維持	建設課
合計 8 施設			4,215.36			

(9) 公営住宅等

公営住宅については、「幌加内町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、対策を実施していきます。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
幌加内町公営住宅等長寿命化計画を参照						

(10) 公園（19施設）

施設の状況を的確に把握し管理するため、管理データを整備し、定期点検による予防保全の維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行える環境を構築します。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	朱鞠内湖 弁天島展望休憩所	朱鞠内	50.00	S47	13 除却	
2	朱鞠内湖 炊事場 1	朱鞠内	42.90	S50	1 現状維持	
3	ほろかない湖公園(東屋)	雨煙内	9.00	S55	1 現状維持	
4	朱鞠内湖 炊事場 2	朱鞠内	40.00	S58	1 現状維持	
5	朱鞠内湖 第3キャンプ場公衆便所	朱鞠内	14.16	S58	3 改修	
6	朱鞠内湖 第2キャンプ場公衆便所	朱鞠内	17.39	S61	3 改修	
7	朱鞠内湖 公衆便所 さわやかトイレ	朱鞠内	96.27	H2	1 現状維持	
8	朱鞠内湖 救命艇庫	朱鞠内	14.58	H2	13 除却	
9	朱鞠内湖 観光案内施設	朱鞠内	190.00	H4	1 現状維持	
10	母子里クリスタルパーク(管理棟)	母子里	161.40	H7	6 見直し	
11	朱鞠内湖畔第2キャンプ場新公衆便所	朱鞠内	30.72	H8	1 現状維持	
12	100年記念公園(管理棟)	清月	87.14	H9	11 規模縮小	
13	添牛内コミュニティ公園(管理棟)	添牛内	60.30	H9	1 現状維持	
14	100年記念公園(水源地管理棟)	清月	6.70	H9	1 現状維持	
15	朱鞠内湖畔(シャワー・コインランドリー)	朱鞠内	53.82	H10	1 現状維持	
16	100年記念公園(公衆トイレ)	清月	15.96	H11	1 現状維持	
17	朱鞠内コミュニティ公園(管理棟)	朱鞠内	181.16	H12	1 現状維持	
18	農村公園(管理棟)	雨煙内	40.43	H13	6 見直し	
19	朱鞠内湖 ログキャビン(新築)	朱鞠内	94.50	H14	1 現状維持	
合計 19 施設			1,206.43			

## (11) 供給処理施設（４施設）

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	塵芥処理施設(管理棟)	雨煙別	81.95	S63	13 除却	
2	廃棄物処理施設 (浸出液処理施設)	雨煙別	456.27	H13	1 現状維持	
3	廃棄物処理施設	雨煙別	226.09	H19	1 現状維持	
4	廃棄物処理施設 (新浸出液処理施設)	雨煙別	245.00	R3	1 現状維持	
合計 4 施設			1,009.31			

## (12) その他（４３施設）

職員住宅、教員住宅、テレビ受信施設、移動通信鉄塔施設、基礎集落圏等、計 42 の施設があり、耐用年数を経過した施設が多いことから、早期に、利用度の状況を考慮しながらの廃止・統合・機能移転・売却等の検討が、今後の課題となります。

「幌加内農業研修所(旧推進本部)」は令和 4 年度もしくは令和 5 年度に除却します。

No.	施設名	地区名	延床面積 (㎡)	建築年	方向性 ・対策	所管課
1	幌加内農業研修所(旧推進本部)	幌加内	217.67	S34	13 除却	総務課
2	幌加内農業研修所(旧推進本部) 増築	幌加内	86.74	S41	13 除却	総務課
3	元幌加内高校 体育館	雨煙内	606.40	S43	8 民間譲渡 ・売買	総務課
4	看護宿舍兼公務補住宅	幌加内	206.60	S43	13 除却	総務課
5	職員住宅 3 号	幌加内	84.68	S46	1 現状維持	総務課
6	職員住宅 2 号	幌加内	101.07	S47	13 除却	総務課
7	職員住宅 133・134 号 (幌加内高校教員住宅)	幌加内	129.60	S48	13 除却	総務課
8	職員住宅 8 号(支所長住宅)	朱鞠内	71.28	S50	1 現状維持	総務課
9	職員住宅 22・23 号	幌加内	115.42	S51	13 除却	総務課
10	幌加内農業研修所(旧推進本部) 増築	幌加内	87.48	S52	13 除却	総務課
11	幌加内中学校教員住宅 52・53 号	幌加内	145.39	S53	13 除却	総務課 教育委員会
12	添牛内地区基礎集落圏(管理棟車庫)	添牛内	137.70	S54	1 現状維持	建設課
13	幌加内中学校教員住宅 55・56 号	幌加内	145.39	S54	13 除却	総務課 教育委員会
14	政和地区基礎集落圏管理棟(新築)	政和第二	59.85	S55	1 現状維持	建設課
15	朱鞠内小学校教員住宅 92・93 号	朱鞠内	146.08	S55	9 転用	総務課 教育委員会
16	幌加内小学校教員住宅 57・58 号	幌加内	134.87	S55	1 現状維持	総務課 教育委員会



17	元沼牛消防会館	沼牛	90.72	S55	8 民間譲渡・売買	総務課
18	元添牛内地区公民館(新築)	添牛内	321.57	S55	13 除却	総務課
19	元添牛内消防会館	添牛内	40.00	S55	13 除却	総務課
20	幌加内小学校教員住宅 38 号(校長宅)	幌加内	78.77	S56	1 現状維持	総務課 教育委員会
21	送信局舎	江丹別峠	9.44	S58	1 現状維持	住民課
22	職員住宅 24 号 (朱鞠内診療所 2 階)	朱鞠内	160.70	S58	1 現状維持	総務課
23	幌加内小学校教員住宅 36・37 号	幌加内	134.48	S58	1 現状維持	総務課 教育委員会
24	幌加内小学校教員住宅 41 号	幌加内	61.16	S58	1 現状維持	総務課 教育委員会
25	朱鞠内小学校教員住宅 91 号(校長宅)	幌加内	73.06	S58	1 現状維持	総務課 教育委員会
26	幌加内中学校教員住宅 59・60 号	幌加内	134.48	S58	1 現状維持	総務課 教育委員会
27	葬祭場(やすらぎ苑 火葬場)	雨煙別	333.22	S59	1 現状維持	住民課
28	幌加内小学校教員住宅 39・40 号	幌加内	134.46	S59	1 現状維持	総務課 教育委員会
29	幌加内高校教員住宅 131・132 号	幌加内	134.00	S59	1 現状維持	総務課 教育委員会
30	移住体験住宅(旧沼牛賃貸住宅 25 号)	沼牛	67.24	S60	1 現状維持	地域振興室
31	幌加内高校教員住宅 135 号(校長宅)	幌加内	136.08	S63	1 現状維持	総務課 教育委員会
32	職員住宅 133・134 号 増築	幌加内	44.82	H2	13 除却	総務課
33	北墓地(便所)	幌加内	12.13	H4	1 現状維持	住民課
34	幌加内小学校教員住宅 31 号(教頭宅)	幌加内	75.33	H5	1 現状維持	総務課 教育委員会
35	幌加内高校教員住宅 136 号(教頭宅)	幌加内	76.05	H10	1 現状維持	総務課 教育委員会
36	移動通信鉄塔施設	幌加内	144.00	H10	1 現状維持	総務課
37	移動通信鉄塔施設(朱鞠内)	朱鞠内	64.00	H11	1 現状維持	総務課
38	移動通信鉄塔施設(政和第三)	政和第三	100.00	H11	1 現状維持	総務課
39	移動通信鉄塔施設(母子里)	母子里	12.99	H12	1 現状維持	総務課
40	移動通信鉄塔施設(添牛内)	添牛内	12.99	H12	1 現状維持	総務課
41	幌加内中学校教員住宅 61 号(校長宅)	幌加内	79.92	H16	1 現状維持	総務課 教育委員会
42	母子里地区基礎集落圏車庫	母子里	90.72	H28	1 現状維持	建設課
43	幌加内テレビ中継局受信所	江丹別峠	1.96	H29	1 現状維持	住民課
合計 43 施設			5,100.51			

## 第6章 まとめ

### 1. 全庁的な取組体制

公共施設等にはそれぞれ所管課があり、所管課ごとに管理が行われています。これは施設の目的や機能、運営実態がさまざまであることや、所管課の専門的な知見が管理上も重要であること、運営等に関する意思決定が迅速になることなどから行われてきたものです。

一方、各所管課が別々に管理を行うことで、設計や修繕の記録が散逸してしまう、管理レベルに差が出るなどの問題も起こり得ます。財政状況が厳しさを増す状況の中では、特にコスト面での無駄は全庁をあげて省く必要があり、公共施設等の管理についても全庁的にレベルを揃え、情報が所管課を超えて共有されるような取組体制が重要となります。

施設の複合化などについて今後検討を進める可能性があることも視野に、各所管課は以下の実践に努めることとします。

#### ①財政との連携

効果的かつ効率的なマネジメント実施のため財務係との連携を密にする。

#### ②町民との協働

町民と行政の相互理解や共通認識の形成など、協働の推進に向けた環境整備を行う。

#### ③職員の意識改革

職員一人ひとりが公共施設等マネジメント導入の意義を理解し、意識をもって取り組み、町民サービスの向上のために創意工夫を実践する。

### 2. 広域的な連携について

今後は、公共施設の機能すべてを町の施設でまかなうばかりではなく、より広い視点からその利活用を考えていくことも求められます。

本町の行政区域にとらわれることなく、近隣自治体、あるいは道、国と連携して、実際の人の動きに合わせた取組を行うことも検討する必要があります。特に将来の人口減少局面においては、市町村の域を越えて施設の統廃合などを進めていくことも考えられます。



幌加内町公共施設等総合管理計画 個別施設計画

2022年3月

幌加内町総務課財務係

〒074-0411

北海道雨竜郡幌加内町字幌加内 4699 番地

TEL 0165-35-2121 FAX 0165-35-2127